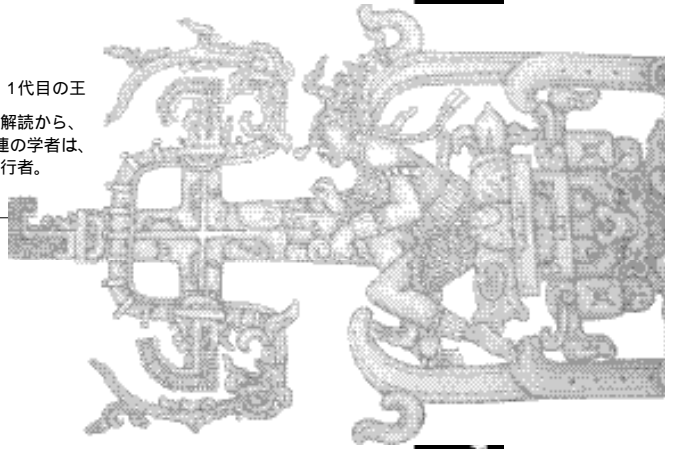


時間の旅人 バカル・ヴォタン マヤ古代王朝11代目の王
1952年発見された、この石棺と碑銘の神殿の文字の解読から、
マヤの叡智がよみがえった。空間認識しかできないソ連の学者は、
宇宙飛行士だと考えた。バカル・ヴォタンは、時間航行者。

第3回

2012年に向けて マヤの預言1



The New York Times



2002年12月23日 1ページにわたる特集記事で、
2012年とマヤについて、「ニューヨーク・タイムズ」に取り上げられました。

パレンケ、メキシコ。12月22日 2012年「時間」が終わる。
偉大なる天文学者であり、1600年前にこの都市（パレンケ）を造った、そのマヤ人によって計算された、創造と破壊の5200年のサイクルであるロングカウント（マヤ暦の長期計算法）によると、2012年の冬至、そのサイクルが閉じるときが近づいている。恐らくこれが世界の終わりではないだろうが、そうなるかもしれないと《時間の法則財団》代表のホゼ・アグエイアス博士は言う。
ホゼ博士は、われわれが時間と調和することができるならば、「そのことが人間の心への影響と自然への影響は、想像を超えた結果になるだろう」と述べ、「太陽を基準としたキリスト暦を捨て、月とマヤの叡智をベースにした13カ月28日のカレンダーに取り替えるための機が熟した」と語る。（「ニューヨーク・タイムズ」より）

「マヤン・ファクター」で初めて2012年にマヤ暦が閉じると発表
1987年にホゼ・アグエイアス博士は『マヤン・ファクター』という本を出版し、その本のなかで、マヤの人たちは他のどのカレンダーよりも正確で正しいカレンダーを使っていたことを発表しました。
そしてこのカレンダーは、20進法によってつくられているという特性をもっていました。この20進法は、何十億年、何百億年という宇宙的な数字を数えることができることを可能にするものでした。

マヤ暦の周期が閉じるといふ2012年。現在、2012年まであと7年というところに来ました。では2012年とはいったい何なのでしょう。世界中で、2012年が語られ始めました。

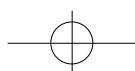
新しい時間に旅立っています マヤ暦の叡智によって、誰でも、

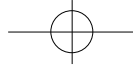
柳瀬 宏秀の「コスミック・ダイアリー」



柳瀬宏秀 やなせひろひで
環境意識コミュニケーション研究所代表。
20年間、電通にて、コピーライター、CMプランナー、映像プロデューサーとして働き、4年前に退社し、現職。
「京都、満月祭り」「満月の十三祭り」を企画プロデュース。仁和寺や上賀茂神社、平安神宮などで、喜多郎、UA、BEGIN、梅若六郎など、賛同するアーティストと、祭りの空間を生み出す。

「環境意識」「月のおもてなし」「共振のコミュニケーション」をテーマに、企業コンサルタントやセミナー、研修、講演なども行っている。ホームページは、<http://www.async.ne.jp/cosmic/>





● セミナーのご案内

ナチュラル・マインド・メディテーション・セミナー

6時間のホゼ・アグエイアス博士のレクチャーのビデオとメディテーションで、宇宙意識に結びつき、エゴを排し、宇宙秩序を熟知し、宇宙文明につながるためのナチュラル・マインド・メディテーションを正確に伝えます。

日程 2006年4月16日(日)、4月17日(月)1泊2日
場所 ラフォーレ山中湖
会費 4万円(ラフォーレ宿泊費 食費3食込み 2人部屋予定)

お申し込み、詳細・お問い合わせは、環境意識コミュニケーション研究所まで。
Mail cosmic-human12@syd.odn.ne.jp
電話055-974-3901 FAX 055-974-3877

柳瀬宏秀・著
『コスミック・ダイアリー2007』
2006年7月26日～2007年7月24日
価格 2,800円(税込み)
申し込みは、FAXかメールで環境意識コミュニケーション研究所まで



そして、いまの歴史の周期は、紀元前3113年に始まり、そして紀元後2012年に終わると示しました。その周期の終わるときが、2012年12月21日、冬至の日なのです。南半球では夏至です。BC3113年に、今回の歴史が始まっている

では、紀元前3113年に何があつたかという、バビロニアに最初の文明的な都市、ウルクが建設されました。バビロニア周辺とエジプトにおいてはこのとき都市生活がすでに始まっていたのです。中南米に6世紀から9世紀に文明を築いたマヤ人が、バビロニアの遺跡の調査をしたわけでもないのに、歴史の始まり、つまり、今回の文明の始まりを正確に把握していました。



いまや、世界中の人々が2012年について知るようになっていきます。人々は、「これはマヤ暦の終わりですね。では他にどういう意味があるのですか?」と訊ねます。マヤの暦はここで終わります。宇宙的に見て、一つの周期の終わりを体験することになるのです。現代社会というものは、もつその終わりを迎えるところに来ているのです。そしてその社会は、目

で見える三次元的な世界こそが現実である、という考えに凝り固まっているのですが、この物質主義が行き着ける最後の所まで来てしまった。終末の局面に来てしまった状態にあるのです。ですから、人はこれから直面する新しい変化というものに対応できるように、心の準備をしておく必要があるのです。

2012年、周期の終わりに何が起るのか? 一つの周期が終わるといつことは、さらに新しいサイクルの始まりを同時に体験することになるのです。ではどんな周期が新しく始まるのか、新しい周期とはいったい何なのでしょう?



現在、人の社会は他の動植物の犠牲のうえに成り立っており、地球上のいろいろな資源を食い尽くしながら存続しています。これを変えなければなりません。地球上の生命という観点から見ると、人類は非常にバランスを崩した形で存続し、他の犠牲のうえに成り立っている状態なのです。そして、これから30年のうちに石油が枯渇します。そしてまた地球温暖化は、いま以上に激しく進んでいくことが予想されています。そしてまた海面の高さがどんな

どん上昇していつています。そして北極にある氷河がどんどん溶けていつている状態なのです。人類は、非常に劇的な危機に瀕しているといわなければなりません。これらの現象を考えるだけでも、人類の文明社会がこれから存続していくことは難しいということがわかっていただけだと思います。

人類が種としてこれから存続していくためには、進化が必要だということなのです。2012年に周期が閉じるといことは、これは現在営んでいる文明社会が終わるといことにほかならないのです。ですが、周期が終わるといことは、新たな周期が始まるということなのです。

精神の進化と
ナチュラルマインド・
メディテーション



マヤの預言の2012年は、人類に「あなたたちはもうこれ以上物質的に進化することはできませんよ、それ以外の道を選ばなければならぬ」と言っているのです。人類がもしこれ以上の進化を遂げようとするならば、精神的な進化なのです。そして、進化のためのファーストステップが13の月の暦、『コスミック・ダイアリー』を使うことで、セカンド・ステップが「ナチュラル・マインド・メディテーション」

ユラル・マインド・メディテーション」を行うことだとホゼ・アグエイアス博士は提案しています。ナチュラル・マインド・メディテーションによって、宇宙意識を導き、エゴのない状態というものを体験します。

自然に回帰し、自然の状態と調和し、シンクロニシティ(のなか)に再び生きるようになるときに、人は新たな価値観というものを生み出すようになるでしょう。この新しい価値観というものは、つまり、「時間は芸術である」という価値観なのです。

マヤ暦によって「時間は、オーガニック・オーダー」という観点で自然と時間を感じるようになる、生物圏のなかで、自然時間に生きるようになるのが、2012年に向けての、ファースト・ステップであるとするなら、ナチュラル・マインド・メディテーションによって、新たな価値観を生み出し、進化していくことが、2012年に向けてのセカンド・ステップだとホゼ・アグエイアス博士は語っています。

